

[A類美術コース, B類美術コース 対象]

学校推薦型選抜 解答例

令和5年度

小論文

現代は、変動性、不確実性、複雑性、曖昧性が高く、未来の予測が難しい時代になってきていると言われる。新型コロナウイルスの感染拡大や国際情勢の不安定化など、困難な状況の取束を見通すことも難しい。こうしたなか、今後、私たちは個人と社会のより良い状態をどのように考え、人々が幸せに生きていける社会を実現していけばよいのだろうか。その際、小学校図画工作科や中学校美術科で、どのような学びを可能にするいかなる授業が必要か。あなたの考えを具体例も示しながら1,600字以内（句読点等を含む）で述べよ。なお、初等教育教員養成課程（A類）美術コースを受験する者は小学校図画工作科を、中等教育教員養成課程（B類）美術コースを受験する者は中学校美術科を想定して述べよ。

◆下書き用紙は各自持ち帰ること。

現代的な社会問題等に関する幅広い知識や教養をもとに、今後の私たち個人や社会の望ましいあり方を自分なりに考え、図画工作科、美術科、芸術科（美術、工芸）での学習が果たす役割を、教科の目標や内容、意義や特性を踏まえながら論理的に述べさせる事を意図し、思考力、洞察力、表現力等を評価する。